

レッツチャレンジ!

授業改善推進プランを作成しました!

保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育に御理解・御協力くださりありがとうございます。

さて今回、家庭向け広報紙「レッツチャレンジ」を各学校で発行することになりました。これは今年度4～6年生が取り組んだ「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果をもとに今年度の重点課題を「授業改善推進プラン」として作成したものです。

是非御覧いただき、家庭での学習に御活用ください。

【4年】

| | | | | |
|----|---------|--|--|-----|
| 国語 | 【目指す授業】 | 児童が高い意欲をもち、進んで学習に取り組む授業 | | |
| | | 児童の実態・課題 | 具体的な手だて | |
| | | ○国語や漢字と聞くだけで意欲が高まらず、消極的になってしまう児童が複数名いる。 | ○授業の導入時に「ことわざ3ヒントクイズ」を毎時間行うことで、学習に向かう意欲を高める。 | |
| | | ○漢字の練習では、苦手な漢字に焦点を当てて取り組んだり、練習量を調節したりすることに課題が残る。 | ○漢字の練習について、模範となる児童を学級全体で取り上げ、効率的な練習の仕方を確認する。 | |
| | | 評価指標 | 6月 | 目標値 |
| | | 国語の学習はどのくらい得意ですか。 | 75.4% | 80% |
| | | テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。 | 67.7% | 72% |
| 算数 | 【目指す授業】 | 課題解決に向けて粘り強く思考する姿が見られる授業 | | |
| | | 児童の実態・課題 | 具体的な手だて | |
| | | ○解いてみたい、できそうという期待がある課題には粘り強く解決に向けて思考する姿が見られる。 | ○課題提示で児童の興味を引き出すしかけ ⇒3ヒントクイズや○×クイズなど | |
| | | ○難しそう、大変そうという問題になると意欲が下がる光景が見られる。 | ○解決につながるヒントを児童から引き出す ⇒ヒントに繋がるつづやきを拾って共有 | |
| | | 評価指標 | 6月 | 目標値 |
| | | 算数で学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。 | 59.5% | 70% |
| | | 算数で学習した言葉を使って、自分の考えを説明している。 | 71.5% | 80% |

【5年】

| | | | | |
|----|---------|--|---|-----|
| 国語 | 【目指す授業】 | 話の内容を理解し、理解したことや自分の考えを表現できる授業 | | |
| | | 児童の実態・課題 | 具体的な手だて | |
| | | ○話を聞いていない、話の内容を理解できない、聞いた内容を忘れてしまう児童が多い。 | ○大切なことは、話を聞く際にはメモをとったり、文章の際には線を引かせたりする。 | |
| | | ○自分の考えを他者に説明できる児童が少ない。 | ○授業の導入で、聞く・話すトレーニングを行う。 | |
| | | 評価指標 | 6月 | 目標値 |
| | | 他の人の話を聞くとときは、メモを取って理解するようにしている。 | 35.3% | 50% |
| | | 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。 | 35.3% | 50% |

| | | | | |
|--------------------------|--|-----------------------------|---|-----|
| 算数 | 【目指す授業】 | 自分の考えを図や表、言葉を使って論理的に説明できる授業 | | |
| | 児童の実態・課題 | | 具体的な手だて | |
| | ○自分の考えをノートに書くことに抵抗は少なく、しっかり思考することができる。 ⇒根拠を明確に説明できる児童はまだ多くない。 | | ○その時間内に身に付けたい力、知識を明確にして、全体で共有 ⇒まとめ時にはキーワードを提示して言葉にこだわりをもてるようにする。 | |
| | 評価指標 | | 6月 | 目標値 |
| | 算数で学習した言葉を使って、自分の考えを説明している。 | | 68.2% | 75% |
| 問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。 | | 54.9% | 70% | |

【6年】

| | | | | |
|----------------------------------|---|------------------------|---|-----|
| 国語 | 【目指す授業】 | 互いに考えを発表し合い、話し合いたくなる授業 | | |
| | 児童の実態・課題 | | 具体的な手だて | |
| | ○友達同士の話し合いやグループ交流が好きな児童が多く、考えを聞くことに意欲的である。 ○説明や発表になると、話し方や言い方が分からないことから、苦手意識をもつ児童が非常に多い。 | | ○説明や発表の話型、説明の順序など、ある程度の型を用意しておく。 ○いきなり発表するのではなく、発表のための用意の機会を確実に活用できるように指導する。 | |
| | 評価指標 | | 6月 | 目標値 |
| | 発表や話し合いのときは、話す内容や順序を考えてから話している。 | | 70.9% | 80% |
| 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。 | | 47.6% | 60% | |

| | | | | |
|--------------------------|---|----------------------------|--|-----|
| 算数 | 【目指す授業】 | 算数が楽しい、問題を解くことが楽しいと感じられる授業 | | |
| | 児童の実態・課題 | | 具体的な手だて | |
| | ○算数が得意、不得意の差が顕著であり、2極化の特徴がある。 ○これまで学習したことを使って課題解決することを苦手としている。 | | ○朝学習や、家庭学習等の時間で東京ベーシックドリル（自分の苦手とする領域）に取り組む。 ○既習事項を振り返られる時間を授業導入で設定する。 | |
| | 評価指標 | | 6月 | 目標値 |
| | 算数の学習が得意である。 | | 59.6% | 70% |
| 問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。 | | 54.5% | 70% | |

お問い合わせ先：武蔵村山市教育委員会教育指導課
☎042-565-1111（内線438）

⇒次回の「レッツ チャレンジ！」は令和4年11月頃に発行予定です。